

## CTガイド下肺生検における空気塞栓の機序の解明

今回、京都府立医科大学は、肺腫瘍に対するCTガイド下肺生検を対象にした研究を実施いたします。そのため、京都府立医科大学附属病院で肺腫瘍に対するCTガイド下肺生検を受けられた患者さんの診療録を調査させて頂きたいと考えています。

本研究の実施にあたり、京都府立医科大学医学倫理審査委員会の審査を受け、研究機関の長より適切な研究であると承認されています。

### 研究の目的

肺腫瘍に対するCTガイド下肺生検は、正診率が高く安全な方法な方法です。しかし空気塞栓という稀な合併症が知られています。本研究の目的は、空気塞栓の起こりやすい因子について検討することです。

### 研究の方法

#### ・対象となる方について

京都府立医科大学附属病院放射線科で、平成22年1月1日から令和元年12月31日の間肺腫瘍に対するCTガイド下肺生検を受けられた患者さんが対象となります。

#### ・研究期間： 医学倫理審査委員会承認後から2021年3月31日

#### ・方法

当院放射線科で肺腫瘍に対するCTガイド下肺生検を受けられた方について、診療録（カルテ）より以下の情報を取得します。CTの画像所見や診療録などを用いて解析を行います。これらはすでに得られているものであり、新たな処置を必要とするものではありません。

#### ・研究に用いる情報について

病歴、CTデータ、診療録、等

#### ・個人情報の取り扱いについて

患者さんの測定結果、カルテ情報をこの研究に使用する際は、氏名、生年月日などの患者さんを直ちに特定できる情報は削除し研究用の番号を付けて取り扱います。患者さんと研究用の番号を結びつける対応表のファイルにはパスワードを設定し、インターネットに

接続できないパソコンに保存します。このパソコンが設置されている部屋は、入室が管理されており、第三者が立ち入ることができません。

また、この研究の成果を発表したり、それを元に特許等の申請をしたりする場合にも、患者さんが特定できる情報を使用することはありません。

なお、この研究で得られた情報は研究責任者（京都府立医科大学 放射線医学教室 学内講師 廣田 達哉）の責任の下、厳重な管理を行い、患者さんの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

#### ・情報の保存および二次利用について

カルテから抽出した情報は原則として、この研究のために使用し結果を発表した後、京都府立医科大学放射線科医局において研究責任者（学内講師・廣田 達哉）の下、10年間保存させていただいた後、研究用の番号等を削除し、廃棄します。

保存した情報を用いて将来新たな研究を行う際には、あらためてその研究計画を医学倫理審査委員会で審査し承認を得ます。

### 研究組織

研究責任者 京都府立医科大学 放射線医学教室 助教 廣田 達哉

研究統括者 京都府立医科大学 放射線医学教室 教授 山田 恵

### お問い合わせ先

患者さんのご希望があれば、参加して下さった方々の個人情報の保護や、研究の独創性の確保に支障が生じない範囲内で、研究計画及び実施方法についての資料を入手又は閲覧することができますので、希望される場合はお申し出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、令和2年7月1日までに下記の連絡先までお申出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

京都府立医科大学 放射線医学教室

学内講師・廣田 達哉（ひろた たつや）

電話：075-251-5620